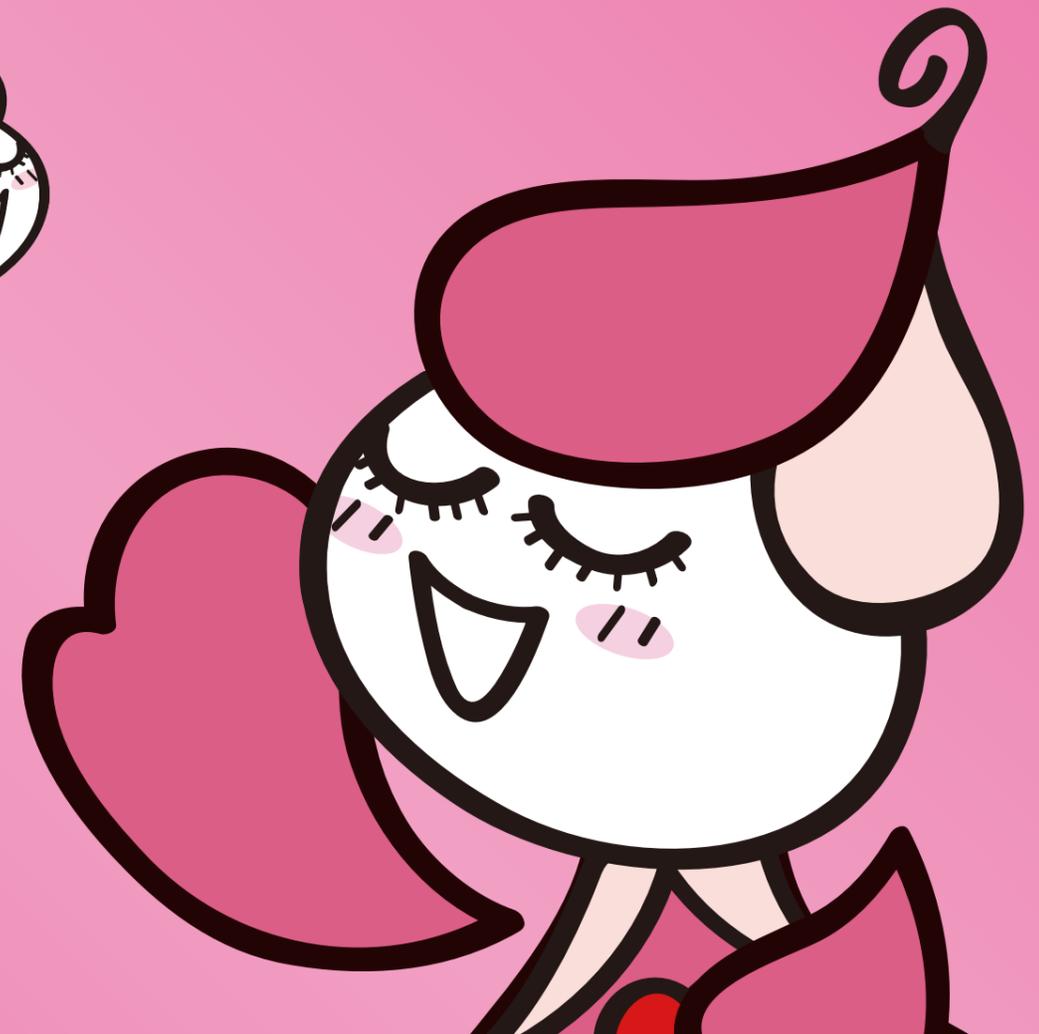




やっぺす
(石巻復興支援ネットワーク)
私たちの軌跡
活動報告書2021



2022年6月30日発行

発行：特定非営利活動法人やっぺす（前：石巻復興支援ネットワーク）

〒986-0806 宮城県石巻市開北3丁目1-8

Tel:0225-23-8588 Fax:050-3155-4313 Mail:info@yappesu.jp

HP:<http://yappesu.jp>

FB: <https://www.facebook.com/yappesu>

Twitter:[@yappesu](https://twitter.com/yappesu)

代表あいさつ



共同代表理事 柏原としこ

皆さま、日頃よりやっぺすの活動を応援していただき、心より感謝申し上げます。

2011年の東日本大震災発災により、まちも、人の心も大きく傷ついた石巻地域を、「誰もが笑顔で暮らすことのできる温もりと活気のある優しさに溢れたまち」となることを目指し、「やっぺす！（＝一緒にやりましょう）」を合言葉に歩んできた11年間。復興支援活動を行って行く中で見えてきた課題を拾い上げ、地域の方たちの居場所づくりや仕事づくり、人材育成などの様々な事業を、地域の皆さまや応援して下さる皆さまと共に創り上げてまいりました。

それにより、一度は失った自信を取り戻したり、自分が持っている力に気づくことで、自己実現（私らしく生きる）を叶えた人たちが地域に増え、その中から「他者の自己実現」をサポートする人たちが増え…この ような、あたたかな人の繋がりとやさしさの循環が着実に「地域の力」になってきていると感じております。

石巻地域は、様々な社会問題を抱えている課題先進地といわれています。さらに、昨今の大規模自然災害の頻発、新型コロナウイルスの流行、ロシア・ウクライナ間の軍事侵襲等、先行きの見えない不安はありますが、これからも、地域の皆さまや応援して下さる皆さまとの繋がりとやさしさの循環から生まれる「地域の力」があれば、きっと乗り越えていける。もっとよい地域にすることが出来る。そう信じております。

だから、これからもみんなでやっぺす！それぞれができることで力を合わせ、共に笑顔溢れるあたたかな未来を、まちを創っていきましょう。

文末となりましたが、3月に、団体設立者である前代表兼子より、高橋と共に共同代表としてバトンを引き継ぎ、団体名も「石巻復興支援ネットワーク」から「やっぺす」へと名称変更いたしました。

兼子前代表や、これまでご支援・ご協力いただいた皆さまの想いを引き継ぎながら、復興からその先の未来を創るため、スタッフ一同邁進してまいります。

どうぞ引き続きご指導ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



共同代表理事 高橋 洋祐

私達が活動を始めるきっかけとなった東日本大震災から11年が経過しました。

「やっぺす＝一緒にやりましょう」を合言葉に、地域の皆様や応援して下さる皆様とともに活動をする中で、地域に撒かれた種が芽を出していることを日々実感しております。

未だ収束の見えないコロナ禍の影響や、軍事侵襲等の不安定で先行きの見えない、誰もが臆してしまう世の中ではありますが、これまでの人材育成スクール等の卒業生が講師になって活躍していたり、これから講師や相談を受ける立場になり、地域の誰かの役に立ちたいと活動を始められる方が増えています。

しかし、地域における社会課題は未だ深刻な状況が続いております。全国的に問題となっている人口減少や少子高齢化では課題先進地域と呼ばれており、昨年も復興住宅では独居の高齢者の孤独死がありました。コロナ禍ではじめた女性の相談窓口では、DVや虐待、生活困窮といった相談が200件以上も寄せられました。

地域に住む私達自身の力がいま試されています。

復興からその先の未来。大切な人や、こども達が生きる未来を「誰か」に任せるのではなく、私達自身が選択し、創っていかねばいけません。

「やっぺす＝一緒にやりましょう」この合言葉が今まさに必要とされています。

1人では無謀な挑戦も、志を共にする仲間となら可能になると信じております。

大きなことでなくても、できることで少しでも誰かのためにGiftする。

そんな小さな積み重ねが、地域の未来を変えたいと思います。

私達の団体名称も石巻復興支援ネットワークから「やっぺす」へ変更し、これから先の地域の未来を皆様と一緒に創っていくため、スタッフ一同邁進してまいります。

私自身も3月に、前代表の兼子から共同代表としてバトンを引き継ぐことになりました。私にとって身に余る重責ではございますが、「私らしく生きるが叶えられるまちへ」を実現するべく、尽力してまいります。

最後になりますが、これまで多大なるご支援・ご協力を賜った皆様深く御礼申し上げますとともに、引き続きご指導ご鞭撻いただけますようお願い申し上げます。

石巻の現状

石巻市 HP より

1. 被害状況 (1)被害概要

地震概要 (気象庁発表)	
○発生日時	平成23年3月11日(金) 14時46分
○震央地名	牡鹿半島の東南東約130kmの三陸沖 (北緯38度06.2分/東経142度51.6分)
○深さ	24km
○規模	M9.0
○震度	震度6強(石巻市)

津波概要	
○津波の高さ	最大高さ T.P(東京湾平均海面) +8.6m (鮎川：気象庁発表) ※津波計による最大高さ
○浸水面積	73km ² (H23.4.18国土地理院発表) ※市内の13.2% (平野部の約30%) が浸水 <参考> 被災6県62市町村の浸水面積合計 561km ² (石巻市の浸水面積は全国の浸水面積のおよそ13%を占める)



石巻市の被害の状況 []は全国 (R3.3.10 警察庁発表)

○人的被害	死者数 3,187人 [15,899人] 行方不明者 415人 [2,526人]	※石巻市の被災住家数は、被災前全住家数の76.6%を占めます
○建物被害	全壊 20,044棟 [122,000棟] 半壊 13,049棟 [283,117棟] 一部損壊 23,615棟 [731,573棟] 合計 56,708棟 [1,136,690棟]	
○地盤沈下	最大沈降 -120cm(牡鹿地区鮎川) ※参考資料：地盤沈下状況・・・P55参照	

避難状況

○最大避難者数	50,758人 (H23年3月17日時点)
○最大避難所数	259箇所 ※避難所は平成23年10月11日、待機所は同年12月11日をもってすべて閉鎖



▲日和山より津波引退時の旧北上川中瀬方向をのぞむ (平成23年3月11日17:00撮影)

東日本大震災の発災から11年が経過しました。震源地から最も近い最大被災地、石巻市では、2022年2月末日時点で死者3,553名(関連死を含む)、行方不明者417名の人的被害を記録しています。(石巻市HPより)

改めて、亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。

11年が過ぎインフラや建物といったハード面は復興しつつありますが、その一方で、人の流出は止まっておりません。

東日本大震災が発生する以前、2011年2月時点で162,822人だった石巻市の人口は、2022年3月末日時点で137,868人に減少しています。(石巻市HPより)

また、世界的に新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、石巻でも例にもれず2022年3月末日時点の感染者数は延べ2741人となっております。今だ収束の見通しが立たず、その影響が家庭で起きる多様で複合的な問題に拍車をかけています。

実際に、弊団体の事業でコロナ禍で経済的困窮に陥るなど、孤独・孤立で不安を抱える女性たちに対して、心理面に寄り添った相談支援に加え自立支援や就業支援を行っておりますが、相談の連絡は途切れず、常に案件を抱えている状況となっております。

それ故に、社会課題先進地域であると言われている石巻市において、その状況だけではなく、原因を捉えようと、持続可能な課題解決にむけた仕組みづくりが求められています。

※やっぺすは、SDGsの「4 質の高い教育をみんなに」「5 ジェンダー平等を実現しよう」「8 働きがいも経済成長も」「11 住み続けられるまちづくりを」「16 平和と公正をすべての人に」「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」の6つの視点から活動に取り組んでいます。

特定非営利活動法人

やっぺす!!とは



やっぺす(前:石巻復興支援ネットワーク)は、子育てに悩んだ経験から、ママ同士が思いを共有し、気軽に相談できる場所が必要だと感じ、2009年に団体創設者の兼子がお母さん仲間とともに立ち上げた「環境と子供を考える会」と、震災後に支援に入った「つなプロ(被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト)」とが共に立ち上げ、法人化した団体です。

市民ひとりひとりが支え合い、みんなで課題を乗り越えていく社会基盤をつくるため、女性や子どもを始めとする多様な担い手に学びや活躍する機会の提供と支援が必要な方へのサポートを行っています。

やっぺすとは、石巻の方言で、一緒にやりましょうという意味です。

同じ目線で、復興するまで寄り添い続けること。そんな思いを込めてやっぺすの活動は始まりました。

そんなやっぺすは2022年3月、冒頭部分の通り、団体の名称変更、そして代表理事交代を致しました。

団体の名称は『石巻復興支援ネットワーク』から、皆様より愛称として親しみをこめてお呼びいただいております、『やっぺす』となり、代表理事の交代では団体創設者、兼子佳恵から、共同代表理事として高橋洋祐、柏原としこへとバトンが渡されました。

震災より11年が経過し、様々な事業を行ってきたやっぺすですが、これからは復興支援の先を見据える必要があること、活動の中で「石巻」と同様に、「近隣の地域」に起きている地域課題も深刻であり、行政、他事業所より相談等が寄せられることが多くあることから、他の地域の方、企業やNPO、行政等と協働し、そして本報告書をお手に取っていただいているあなたといっしょに「私らしく生きる”が叶えられるまちへ”を目指してまいります。



2021年度(第11期)事業について

第11期は、管理部門を除き11の事業を実施しました。事業は3本の柱で構成しています。1つ目の柱である「女性の活躍推進」では、女性の能力がさらに活かされる地域社会につなげることを目指し、ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループの助成を受け、2019年度から3年間の継続事業「ストレスを抱える女性の自己回復力向上のための人材育成事業」を実施しました。前年度までの2年間で、ストレス対処の手法の資格を取得した地域女性25名(コーチング8名、メンタルヘルスアドバイザー10名、レジリエンスコンサルタント8名)は、団体が実施する相談業務の相談員や、宮城県や石巻市から受託した女性人材育成スクールの講師として活躍しながら、新人講師のネットワーク会議や、ブラッシュアップ講座を実施し、助成期間終了後も継続して活動ができるようサポートをしました。この新人講師らは、団体から離れ、女性講師集団「MRC25(まきレンジャークラブ25)」を自主的に立ち上げ、今後も心のケアや人材育成の活動を継続して行う予定となっております。

宮城県からの委託をうけ実施した、「みやぎの女性つながりサポート型支援事業」では、昨今の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、経済的・精神的困窮に陥った女性たちへの相談支援を、石巻地域及び仙台北地域の2地域において実施しました。対面や電話、またはメール、オンライン等での相談に加え、アウトリーチ型支援・同行支援・生理用品の提供など、相談者の実情に合わせ包括的に支援することができました。

2つ目の柱である「子育て支援」では、コミュニティスペースバタフライにて、やっぺす!ママ子ども食堂を継続して開催しました。昨年に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、少人数・お弁当配布制で実施。各回相談員を配置し、子ども達の遊び場と気軽に相談ができる場として、沢山の親子に参加していただき、開催総回数210回、総参加人数1098名(大人:517名/子ども:581名)にのびりました。

また、2020年7月から実施している石巻市の委託事業「子育て世代包括支援センターいっしょいっすよえきまえ」では、利用者支援事業・地域子育て拠点事業・助産師による産前産後「心とからだのトータルケア推進事業」という構成で、相談支援、情報提供、講座を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施しました。2年目である今年度は、地震や新型コロナウイルス感染症の影響により、1か月ほど休館した期間もありましたが、総来館者数4103名(大人:1808名/子ども:2225名)と多くの親子に利用していただき、来館者同士の交流や相談、学びの場を通し、子育て中の孤立防止・不安や負担の軽減に寄与することが出来ました。

5月からは、石巻市内で出産した産後4か月までの母親を対象とした、石巻市委託事業「産後ケア事業」を開始。産後の身体回復や心理的安定の促進のため、助産師による相談や沐浴のほか、骨盤ケアや子どもを預け

てのランチ等、母親の休養と心身のケアができる機会を提供しました。

コロナ禍をきっかけに増加した子育て世帯からの相談や、行政機関等の関係各所からの相談により地域での必要性を感じ、前年度から運営を開始した「やっぺすハウス(シェルター機能をもつ、貸しハウス)」を3棟に増設。年間のべ12世帯が利用し、稼働率(入居日数/設置期間の日数)は2020年度の43%に対し、2021年度は80%と大幅に増加しております。フードパントリー事業も常時対応ができるよう棚やストックを増設拡充し、年間200世帯を超える子育て世帯の家庭に食材等の物資を提供しました。子ども食堂やフードパントリーは新型コロナの影響により全国的にも注目されており、企業や団体だけでなく、個人の方からも食材や生活用品のご寄付をいただく機会が増え、地域の子どもたちを地域の人たちが支えるという意識が根付いてきていると実感しております。

3つ目の柱である「復興支援活動」では、コミュニティ形成と住民の生きがい創出を目的としたサロン活動やイベントを、復興公営住宅の集会場や当団体ホールを会場に年間76回実施。バス遠足を年間3回実施しました。サロン活動やイベントの参加者数はのべ1170名。地域住民が講師を務める「やっぺすカレッジ」では、クラフトバンド教室やリズム踊り、パン作り教室などのほか、グランドゴルフを始めたことで男性の参加も増加し、住民の活躍の場と交流の機会を作ることが出来ました。昨年度は新型コロナウイルスの流行に加え、大きな地震が続いたため、活動を中止せざるを得ない期間もありましたが、電話による心のケアや、脳トレドリル、ヨガやリズム踊りのDVD配布やYouTube配信などを行い、住民の孤立防止や生きがいづくりに繋げることができました。次年度も新たな住民講師を発掘、開催場所を増やし、地域住民主体の活動を根付かせていきます。

復興コーディネーター事業では、三越伊勢丹グループ労働組合の皆さんと公営住宅の住民さん15名が集まる会場でオンラインで繋ぎ、水引ワークショップと交流会を行ったほか、昨年度に引き続き、取材やビデオ撮影によって、現地に赴くことができない方たちに、地域の現状を伝えていただきました。

グッズ販売では、無事かえるシリーズ第10弾として、折りたたみクッション・ビーンボール用リュックサック・ホイッスルの3種が発売され、ご好評をいただいております。

尚、今年は3月11日に活動報告会を石巻で実施しました。団体の活動を応援して下さる皆様と地域住民の皆様のべ100名を超える方たちへ、1年の活動報告を実施し、今後の事業展開につなげました。

2021年度事業カレンダー

4月～ 昨年から引き続き「やっぺす！ママこども食堂特別編」を開催。
前年度より設置していたやっぺすハウスを、1棟から3棟に増設。

16日～ 2021年初めてのやっぺす隊活動「顔合わせ会」実施。

5月～ 「やっぺすフードパントリー事業(生活困窮者支援)」開始。

8日 「The Entrepreneurial Mindset：未来創造型思考と行動法則」講演会を開催。(共催：JWLI様・米日財団様 後援：宮城県様)

8日 女性の自己回復力向上のための人材育成事業にて養成された新人講師による「令和3年度第1回ネットワーク会議」を開催。

15日 女性の自己回復力向上のための人材育成事業にて養成された新人講師による「令和3年度第1回新人講師によるブラッシュアップ講座」を開催。(全10回)

6月～ 石巻市委託事業産後ケア事業「HAPPY BIRTHDAY MAMA」開始。

2日 2011年8月より活動してきた「やっぺす隊がやってくる」の名称を「やっぺすカレッジ」に変更。初回は復興公営住宅の住民さんと「やっぺす遠足」実施。

7日 「時代に調和する新しい“つながり”のカタチ2021〈実践編〉～ポストコロナ社会に向けて～」に団体創立者の兼子がパネリストとして登壇。

16日 やっぺすカレッジが「ばばチューブ」(Youtube channel)を復興公営住宅の住民さんと開始。

7月15日(一財) 非営利組織評価センター(JCNE)の評価を受けベーシックガバナンスチェックリストの掲載団体として認証。

21日 宮城県委託事業「みやぎの女性つながりサポート型支援事業」女性による女性のための相談窓口『こころぴーす』開始。

26～28日「やっぺすママこども食堂♡学習支援で夏休みの宿題をやっちゃおう」実施。

28日 やっぺすカレッジ「カゴメ健康体操」実施。

8月2,4,8日「やっぺすママこども食堂♡夏休みワークショップ祭り」実施。

4日 やっぺすカレッジで、「夏休みこども企画クマのパンを作ろう！inみなと荘」開催。

13日 「新たな住宅セーフティネット制度」に基づき、宮城県内で第12号の「居住支援法人」に指定。

9月24日 弊社事業で要請した新人講師2名が石巻カトリック幼稚園様で「ママの笑顔は家族の幸せ～笑顔のチカラ～」の講師として登壇。

10月6日 JICA南スーダン平和機構(地方行政)基礎情報収集・確認調査オンラインワークショップ「南スーダンの地域社会再



達成率 118%
特定非営利活動法人 石巻復興支援ネットワーク やっぺす
子どもたちが自分で選択できる環境を創りたい！
皆様の温かいご支援に感謝いたします！
目標額 1,000,000円



建に向けて」に石巻の市民団体として団体創立者の兼子が講師として登壇。

13,20,23日 女性人材育成セミナー「いしのまきジェンヌ(まきジェン)～自分らしく自分の人生を選択できるセミナー～」(水曜日コース)開催。

24日 やっぺす主催「寄付で市民活動を支えるイベント！アフターコロナに備えいまわたしたちにできること」にジャーナリスト 池上彰氏を招き、開催。

30日 「やっぺす収穫祭」実施。

11月6,20,27日 女性人材育成セミナー「いしのまきジェンヌ(まきジェン)～自分らしく自分の人生を選択できるセミナー～」(土曜日コース)開催。

9日 石巻市教育委員会生涯学習課主催「親から子どもに贈るGIFT」講座開催 講師として団体設立者の兼子が登壇。

17日 令和3年度みやぎの女性活躍ネットワーク事業「Gift」に(株)ヴィ・フィールド代表取締役レジリエンスコンサルタント協会理事 古市和子氏を招き、開催。

26日 令和3年度新規採用職員フォロー研修(塩釜市主催)に代表兼子が講師として登壇。

30日 (特非)いわて連携復興センター主催分科会「復興の過程とともに、NPOの活動と役割はどのように変化していくのか？」に団体創立者の兼子が登壇。

12月～ 「赤い羽根みやぎチャレンジプロジェクト」募金活動開始。

5,8日 「やっぺす♡ママこども食堂♡クリスマスワークショップ★」開催。

21日 (一財) 非営利組織評価センター(JCNE)の評価を受け、グッドガバナンス認証を取得。

1月9,10日「☆2022年★やっぺすママこども食堂★明けましておめでとうワークショップ」開催。

26日 政策文化総合研究所公開研究会「東アジアにおける文学と社会課題」に団体創立者の兼子が講師として登壇。

2月18日 無事かえるシリーズ第10弾発売開始。

3月11日 2021年度やっぺす報告会in石巻開催。

12日 「令和3年度新人講師のためのブラッシュアップ講座」終了式を開催。

16日 アマネセール新作「Move～動く～イヤーカーフ」発売開始。

17日 団体名を「特定非営利活動法人 やっぺす」へ改名。

29日 「やっぺすカレッジ文化祭」開催。

31日 「やっぺすカレッジ日帰りバス遠足」開催。

31日 「赤い羽根みやぎチャレンジプロジェクト」の募金活動が終了 目標額1,000,000円に対して1,187,337円集まりました。



特定非営利活動法人

私たちの軌跡 活動報告書2021

代表あいさつ	p01
石巻の現状	p02
やっぺすとは	p03
2021年度事業について	p04
2021年度事業カレンダー	p05
	p08
	p09
	p10
	p11
	p12
	p13
	p14
	p15
	p16
	p17
	p18
会計報告	p19
支援企業一覧	p20
ご支援のお願い	p21

女性のこころを守り、つなげる
みやぎの女性つながりサポート型支援事業

得た強さを、誰かのために
ストレスを抱える女性の自己回復力向上
のための人材育成事業

創業を目指す方を伴走型で応援する
創業支援事業

外で働けないママたちのために
おうち仕事

石巻から全国の女性たちへ紡ぎだす物語
Amanecer

妊娠期から子育て期にわたって「いっしょ」に子育てを支援する
石巻市子ども・子育て利用者支援等事業業務

ママたちが羽ばたくコミュニティスペース
ママこども食堂

がんばり続けるママの休息所
石巻市産後ケア事業 HappyBirthdayMama
～産んでくれて、ありがとう～

やっぺす隊がやってくる！
仮設・復興住宅心の復興事業

外部と被災地との支援ニーズをマッチング
石巻復興コーディネート事業

石巻から「防災」を届ける
グッズ販売事業



女性のこころを守り、つなげる みやぎの女性つながり サポート型支援事業

事業概要

ストレス社会といわれる現代において、自分自身の心身のケアが十分にできないまま暮らしている女性が少なくありません。仕事に加えひとりで何役もこなす女性の心身の健康は、男女共同参画社会の実現、少子化対策、地域創生といった様々な観点から考えても非常に重要です。
本事業は、石巻地域、仙台北地域の女性たちが新型コロナウイルス感染症に起因する経済的困窮に陥るなど、孤独・孤立で不安を抱える女性や女の子に対して、心理面に寄り添った相談支援に加えて、自立支援や就業支援との連携など、社会参画に向けた、きめ細かな支援を行ってまいります。

女性による女性のための相談窓口
♡こころぴーす♡



塩釜での相談会の様子



相談会会場の様子

今期の成果

- 公認心理士・コーチングコーチ・レジリエンスコンサルタント・メンタルヘルスアドバイザーによる相談窓口・出張相談会・電話相談を実施
- 2021年7月21日～2022年2月28日 石巻地域
相談員対応件数 191件（アウトリーチ・同行支援含む）
- ・2021年7月21日～2022年2月28日 仙台北地域
相談員対応件数 23件（アウトリーチ・同行支援含む）
- ・相談員23名が相談員として活動した。
- こころぴーす相談窓口の設置

今期の主要アウトカム

- ・相談窓口、電話相談を行うことで始めは毎日相談に来ていた方が月一回、週に一回と相談回数が減少し、こころの安定に繋がっている
- ・相談窓口を作ることで、コロナ禍でストレスを抱える女性たちが様々なサポートにつながれるよう働きかけることができた。



得た強さを、誰かのために ストレスを抱える女性の 自己回復力向上のための人材育成事業

講師をはじめ、お世話になった皆さんと、修了証を持って記念撮影

事業概要

「ストレスを抱える女性の自己回復力向上のための人材育成事業」は、女性の能力がさらに活かされる地域社会につなげることを目指しております。医薬品会社ジョンソン・エンド・ジョンソンの助成を受け、ストレス対処の手法を提供できる人材を育成するためのスクールの開講やコーチング・メンタルヘルス・レジリエンス分野の3本立てで実施してまいりました。

3年目の2021年は、コーチング、メンタルヘルス、レジリエンス、各分野で資格取得した新人講師25名のさらなるエンパワーメントを目指すため、新人講師のためのブラッシュアップ講座（全10回）を開講、実施。県の委託としては「みやぎの女性つながりサポート型支援事業」、石巻市の委託としては「Issyoいっしょえきまえ」「石巻市女性人材育成セミナー（通称：まきジェン）」「石巻市産後ケア事業（HAPPY BIRTHDAY MAMA）」など行政と提携し、幅広く事業を展開し、地域の女性のメンタルケアに取り組んでいます。



石巻市女性人材育成セミナー（水曜コース）「自分の性格にクセがある？ エゴグラムシートで分析してみよう～」講座の様子

今期の成果

- 新人コーチによる講座など実施サポート
 - ・新人講師8名が講座実施（5回）や相談員として活動した。
- 新人レジリエンスコンサルタントによる講座など実施サポート
 - ・新人講師8名が講座実施（6回）や相談員として活動した。
- 新人メンタルヘルスアドバイザーによる講座など実施サポート
 - ・新人講師10名が講座実施（6回）や相談員として活動した。
- 新人講師のためのブラッシュアップ講座（全10回）、25名が修了
 - ・令和3年度第1回/第2回 講師ネットワーク会議の開催
 - ・講師のデモンストレーション講座の実施や年度の取り組みについての話し合い
- ストレスチェックアンケート・ストレスケア事業報告会の開催
 - ・2020年12月15日～2021年1月30日と2021年12月1日～2022年1月31日の期間にランダムに抽出した石巻在住の10代～70代を対象にストレスチェックアンケートを実施し、分析は中央大学の広岡守穂教授にご協力頂いた。



弊社代表の高橋より次年度の取り組みと目標についてお話しさせて頂きました

今期の主要アウトカム

- ・新人講師のためのブラッシュアップ講座アンケート結果より：93.5%の受講生が「満足」「とても学びの深い有意義の講座の時間」と回答。
- ・ストレスチェックアンケートの調査結果から「ストレスコントロールが難しいのは仕事を持たない女性」ということが分かった。
- ・石巻市女性人材育成セミナー（通称：まきジェン）にて、受講生延べ114名に対し、新人講師9名がセミナー講師を務めた。
- ・石巻市家庭教育支援学級の講師として、新人講師25名が登録。
- ・宮城県みやぎの女性活躍ネットワーク事業「GIFT」（受講生25名）にて、新人レジリエンス講師5名がファシリテーターを務めた。
- ・石巻市産後ケア事業にて、産後女性23名に対し、新人講師3名が相談支援を実施。
- ・宮城県みやぎの女性つながりサポート型支援事業にて、仙台北・石巻の2地域の相談者200名に対し、新人講師25名が対面、電話などの相談支援を実施。
- ・石巻市子ども子育て利用者支援事業「Issyoいっしょえきまえ」にて、新人講師10名が相談員としてのべ3623名の相談者（子育て中の母親）に対し、相談支援を実施。
- ・やっぺすママこども食堂で、新人講師7名が相談員として517名の相談者（子育て中の母親）に対し相談支援を行なった。
- ・やっぺすハウス（シェルター機能をもたせた貸しハウス）入居者8名に対し、相談支援を行なった。



創業を目指す方を伴走型で応援する 創業支援事業

寄付で市民活動を支えるイベント（池上彰氏特別講演）

事業概要

石巻市は震災以前より過疎化、少子高齢化問題が深刻な地域であることから、人口減少による市場圧迫などに左右されない自立した形での地方経済圏（創業土壌）の安定化と、産業シーンの新陳代謝を活性化させる「ヒト・モノ・カネ」の循環する基盤を整備することが重要であると考えています。

そのため、本事業では、創業希望者や既存の創業者らが時代の変化の速度に合わせて学び続けられる土壌と、彼らが講師として後発の創業者らに学びを提供し続けられる土壌の2つを創出します。



起業相談等を行うスペース

今期の成果

- 【寄付で市民活動を支えるイベント！】池上彰氏講演会「アフターコロナに備え、いま私たちにできること」開催
 - ・総参加人数46名
 - ・集まった寄付金額208,898円
- 創業、経営等相談対応件数延べ 10件

今期の主要アウトカム

- ・石巻で起業を考えている若者に対して、事業開始までのプロセスを伝えるとともに、既にその業界にて取り組まれている起業家の方をマッチングした。
- ・個別でプレゼン資料の作成、補助金の申請書の作成をサポートし、補助が決定した。
- ・相談者と税理士等の専門家をお繋ぎすることで、経営の改善や効率化に役立てることができた。





外で働けない女性たちのために おうち仕事

イストワールクラウドファンディングの水引マスクチャームを制作しました

事業概要

当事業は、自分のペースで働ける場所がなく、子育て以外で外に出る機会が少ない小さな子どもが居る母親たちの、どんどん閉じこもっていく状況を改善し、生活再建のための収入を得る機会を作るためにスタートしました。

現在は子育て中の女性だけが対象ではなく、幅広い年代の女性たちに、復興支援を希望する東京、大阪などの企業と共同で、手仕事を中心とした内職を提供しています。

2021年度は(株)イストワール、(一社)rennsa(アズボヌール)から前年度より引き続き委託を受け、新たにナカジマコーポレーションからも委託されました。

今期の成果

- (株)イストワール
水引きマスクチャームアクセサリー制作、検品、値札つけ
- (一社)rennsa アズボヌールレザーアクセサリー
リング、キーホルダー類、ピアス、ネックレス、ブレスレット制作
- ナカジマコーポレーション
かえるのピクルスノベルティグッズシール貼り

今期の主要アウトカム

- ・延べ11名へ内職を依頼
- ・支払い内職賃 ¥180,720 (2021年5月~2022年4月まで)
- ・アズボヌール新作レクチャーをオンラインにて実施。
- ・やっぺすカレッジで取り組んでいる水引チャームをイストワールのクラウドファンディングの返礼品に選んでいただき、やっぺすカレッジ参加者2名に内職賃を支払うことができました。
- ・ナカジマコーポレーションから、ノベルティの石巻産サバ缶にシールを貼る作業を請けおった。



ナカジマコーポレーションかえるのピクルスサバ缶にラッピングシールをひとつひとつ貼り合わせました



アズボヌールオンラインワークショップで、新作アクセサリーを制作しました



石巻から全国の 女性たちへ紡ぎだす物語 Amanecer

2022年新作はイヤークフ「Move ~動く~」

事業概要

震災後、生活を再建し始めた小さな子どもを持つ母親たちには、育児によるストレス等が更に加わることにより、幼児虐待や育児ノイローゼに陥る可能性が懸念されています。このような問題の解決の為に、母親たちの子どもが居ながらにして収入を得る機会や閉じこもった生活から一歩外へ出られるような場を提供することが必要だと考え、当事業をスタートしました。被災した母親たちが製作するアクセサリーブランドを自団体に運営し、より一層の効率化を図る為、運営サイトの変更、アクセサリーデザインを自分たちで行っております。



イヤリングの圧迫感がなく、耳に引っ掛けるフック型のイヤークフアクセサリーです

今期の成果

- 新規の商品を発売することが出来た。
- 制作者雇用数：2名

今期の主要アウトカム

- ・新商品を3月に展開し、復興へ歩み続けるママたちのストーリーと未来への想いを商品という形で外部へ発信した。



イヤークフは4パターン。ひと粒オニキスはユニセックスにお使いいただけます



妊娠期から子育て期にわたって「いっしょ」に子育てを支援する 石巻市子ども・子育て利用者支援等事業業務

お子さんと遊びながら相談ができます！

事業概要

本事業は石巻市より業務委託を受け、2020年7月1日石巻市ささえあいセンター内に開館しました。現在は、新型コロナウイルス感染症防止のため、人数・時間制限、消毒の徹底を行いながら、継続して開館しております。

いっしょえきまえは妊産婦相談含む相談支援や情報提供、子育てに関する講座を行うとともに、関係機関との顔の見える連絡調整を実施し、子育てに関する不安や悩みを持つ方の精神的負担の軽減を図ることを目的として事業展開しております。また、合わせて遊びのスペースもございます。大型の遊具や、ボールプール、知育玩具や多くの絵本が設置されており、ご来館して頂いた方の多くが継続して利用しております。市内に居住する0歳～18歳未満の子ども、子育て中のママ・パパ・祖父母の方(妊娠されている方も含む)ならどなたでも無料でご利用いただけます。



助産師が講師を務める妊産婦講座の様子

今期の成果

■利用者支援事業

- ・子育て等に関する相談件数 232件
- ・広報：相談に関する発行物 1件
- ・広報：産前産後に関する発行物 1件

■地域子育て拠点事業

- ・子育て及び子育て支援に関する講座開催 18回 66人参加
- ・いっしょ えきまえ(遊びのスペース)総来館者数 4103名 親/1808子/2225

■助産師による産前産後「心とからだのトータルケア推進事業」

- ・助産師が行う妊産婦相談件数 65件
- ・助産師が行う妊産婦講座開催 13回 72名参加

今期の主要アウトカム

2年目として、着実に地域の方に子育て世代包括支援センターとして認知、理解を頂きつつあると実感している。実際に来館者・相談件数が前年度比約+200人、妊産婦相談件数は約+10件となっている。また、今年度は2度、地震の影響で1か月、新型コロナウイルス感染症の影響で1週間ほど休館しているが、数字としては増加傾向にあることから、子育ての負担の軽減や子育て中の悩みについて相談できる場所、そして、子育てに係る講座を開催している場所として認知が進んでいるように感じる。また、地域子育て拠点として、来館された方向士で交流が生まれ、子育て中の孤立を防ぐことが出来ている。



ママたちのコミュニティスペース ママこども食堂

クリスマスのワークショップで手作りの時間を過ごしました

事業概要

石巻地域は、震災以降、少子化や貧困問題等、多くの課題が顕在化しており、同時に仮設住宅、復興住宅、家族の転勤などでコミュニティが分断し、孤立しがちで育児にストレスを抱えている母親が多く、それが育児放棄や虐待などに至る危険性ははらんでいます。

さらに昨年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、パートナーからのDVや、失職などによる経済的・精神的困窮、感染症対策による家事育児の負担の増加や、外出の制限など、母子ともにストレスを抱えやすい状況が続いております。

母親らが気軽に相談できる機会や、安心して遊べる空間、持ち帰りのお弁当や、趣味・学びの場の提供を通すことで、子育て中の母親の孤立防止や家事育児の負担軽減となり、それが育児・家事ストレスの解消へと繋がります。

また、参加者からの生の声を聴くなかで、隠れている課題をあぶり出し、必要に応じて行政や他団体との連携を取り対応するなど、より地域全体で子ども達を見守る子育てしやすい土壌づくりをめざし、取り組んでおります。



病後児保育室ミルクの看護師初貝先生の相談会を月1回実施

今期の成果

- やっぺすママこども食堂開催総回数：210回
- ・総参加人数 1098名 (大人：517名/子ども：581名)
- ・うち、子育て相談会同時開催 (83回)
- ・うち、こども食堂と組み合わせたワークショップの開催 (全10回)
- ・アロマ虫よけスプレーづくり、クレイアート、アーティフィシャルフラワーのリース作り、芋ほり体験等、親子で楽しめるワークショップを実施
- ※新型コロナウイルス感染症対策のため、時間と人数制限を設け、相談と遊び場、お持ち帰りのお弁当の提供を行った。
- 相談窓口の設置と物資の提供 のべ590件
- シェルター（やっぺすハウス）の設置運営
- ・3棟設置 年間利用世帯数のべ12世帯
- 稼働率（入居日数/設置期間の日数）80%
- 生活困窮世帯の子ども達の学習支援 利用者数 のべ87名
- ・石巻圏域こども食堂連絡会議（毎月第2月曜）への参加
- ・みやぎ子ども食堂ネットワーク会議幹事会への参加

今期の主要アウトカム

- ・地域の子育て中の母子に、気軽に子育て相談できる場、地域の子育て関連施設などの情報を提供する場として活用してもらうことができた。
- ・コロナ禍の少人数制で実施したことにより、周りの目を気にせず相談することが出来た。更に少人数制の為、一か月の回数を昨年の倍に増やしたが、毎月90%以上の参加率であった。
- ・こども食堂の参加から、行政や弊団体の講座受講に繋がり、母親のエンパワメントに発展した。
- ・遊び場が少ない地域の現状において、親子で安心して全身を使って伸び伸びと遊べる環境を提供でき、コロナ禍のストレス緩和にもつながった。
- ・石巻地域子ども食堂会議及び、みやぎ子ども食堂ネットワークへの参加により、県内様々な地域で活動している団体との交流・共有・連携が取れるようになった。
- ・こども食堂やパントリー設置の活動が徐々に地域に浸透し、企業、団体だけでなく、地域住民等からも食材や物資の支援が増えた。
- ・行政や地域の相談窓口との関係性が構築され、意見交換やケース会議等の機会も増え、地域の子どもたちを見守るネットワークが強化された。



がんばり続けるママの休息所 石巻市産後ケア事業 Happy Birthday Mama ～産んでくれて、ありがとう～

可愛い赤ちゃんを3人お預かり。ママは別室でごゆっくり

事業概要

石巻市からの受託事業として、産後間もない時期に、母親の身体的回復や心理的安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母子とその家族が健やかな育児ができるよう、助産師などが中心となり支援しています。

日帰りで施設利用して頂き、休養の機会を提供するとともに、母親の身体的・心理的ケアや、乳房マッサージ、児の発育の確認、育児の手技について具体的な指導及び相談を実施しております。

今期の成果

- 産後ケア開催総回数 17回
- 総参加組数 23組
- 総参加人数 46名（大人：23名/子ども：23名）
- ・うち、公認心理士らによる相談（21回）

今期の主要アウトカム

- ・産後ケアを利用した方全てにアンケートを記入して頂き、もう一度利用したいという回答も多く、満足したという回答が100%であった。
- ・アンケートのなかで、「ゆっくり過ごす時間が持てて、自分は疲れていたんだと初めて感じた」、「世の中の産後の母親はみんなもっと頑張っているのだからと自分を追い込んでいた」という回答が多く、産後間もない母親に対して、自分自身の体調と向き合う機会を提供できた。
- ・利用された母親に、地域の子育て支援施設や相談窓口等の情報を提供することができた。



助産師さんとお話をして1日のスケジュールを決めます



赤ちゃんのお世話中。ミルクもお任せ下さい



やっぺすカレッジ！ 復興住宅 心の復興事業

グラウンドゴルフやっぺす！

事業概要

石巻市内の復興公営住宅集会所にて、コミュニティ形成、住民の生きがい創出と自信回復を促すためのサロン活動を行っております。本年度はコロナウイルスによる自粛で、心身の健康被害の軽減にも力を入れた活動となりました。自宅再建による孤独を軽減するため、地域や復興住宅という壁を外して交流する収穫祭や遠足も、時期を調整し計画、コロナ感染防止対策を取りながら実施しました。グラウンドゴルフも各地域から参加、男性の参加者が増加しております。また外部からのニーズと住民のニーズをマッチングしたイベントの企画・運営にはオンラインを使用するなど、できる限りのイベントの開催に努めました。自粛期間の運動としてやっぺすヨガ教室をDVDで配布し、広報活動としてはYouTube Channel「ハッピーチャンネル」を開設、発信しました。

今期の成果

- 復興支援イベント76回実施 参加人数延べ人数 1170名
- バス遠足3回実施
- コロナ自粛に伴う活動
 - ・脳トレドリルの作成・配布 2回 合計100部
 - ・自粛期間中の課題制作 3種（コースターづくり・マスコットづくり・水引結び）
 - ・電話による傾聴 50件
 - ・ヨガDVDの配布 20件
 - ・すすめ踊り用CDの配布 20件
- 地震発生に伴うところのケア
 - ・電話等による傾聴 32件
- 住民の活躍推進
 - ・石巻市生涯学習課「まなび舎」に、「紙ひもでかご作り講座」登録
 - ・YouTube「ばばちゃんねる」にて動画配信 6回
 - ・新講座開催(布小物) 新講師 2名
 - 他復興住宅でのバス遠足に伴う相談 1回



地域の住民さんと一緒にパン教室！

今期の主要アウトカム

- ・受益者から新講師2名が誕生した。
- ・石巻地域における高齢化による免許の返納による遠方への外出の減少、自宅再建に伴うコミュニティからの孤立が懸念されている中、交流の機会を創出できた。
- ・コロナ自粛の時期は、電話で時間をかけて傾聴を行うことで、悩みや不安、孤独感の軽減となっており、実際に活動の中で住民の方からお言葉を頂戴している。また、その結果、コロナ鬱の予防の一助となっているように感じている。
- ・地震の発生後の安否確認の電話はひとり暮らしの方にとっても感謝され、地震による心細さと不安(震災当時のフラッシュバック)の軽減になっている。



外部と被災地との支援ニーズをマッチング 石巻復興コーディネート事業

視察の様子

事業概要

現地のニーズと組み合わせながら、企業・大学・各団体の支援活動や社員研修、視察、スタディツアーのコーディネートを行っています。復興公営住宅でのコミュニティ形成支援、人口が減った地域での生業支援等、まだまだ支援を必要としている方々を支えるとともに、震災の風化を防ぎ、いつどこで起きるともわからない災害に対して、参加者の防災・減災意識を高める効果も期待しています。また「復興の過程」や「防災学習」、「女性の活躍促進」等をテーマに、代表理事等による講演活動やワークショップの実施にも力を入れており、被災地の現状を伝えたり、復興まちづくりにおける女性の役割やリーダーシップについて、お話しています。

今期の主要アウトカム

・石巻圏域での企業研修やボランティア活動の受け皿として、またボランティアニーズを持つ石巻圏のNPOや市民活動とマッチングできるハブとして実質的に機能している。



今期の成果

■復興支援活動&視察等の実績

- ・三越伊勢丹(5月)
- ・国連ユニタール(7月)
- ・MDRT日本会現地視察(10月)

■講演・セミナー・パネラー登壇

- ・東日本大震災から10年 時代に調和する新しい「つながり」のカタチ2021〈実践編〉～ポストコロナ社会に向けて～(6月)
- ・JICA南スーダン平和機構(地方行政)基礎情報収集・確認調査オンラインワークショップ「南スーダンの地域社会再建に向けて」(10月)
- ・石巻市教育委員会生涯学習課主催「親から子どもに贈るGIFT」講座(11月)
- ・令和3年度新規採用職員フォロー研修(塩釜市主催)(11月)
- ・特定非営利活動法人いわて連携復興センター主催分科会「復興の過程とともに、NPOの活動と役割はどのように変化していくのか?」(11月)

政策文化総合研究所公開研究会「東アジアにおける文学と社会課題」(1月)

■企業協働事業

- ・カゴメ株式会社
- トマト苗寄贈(5月)
- ベジタブルチェッカー(7・1月)
- カゴメ健康教室(7月)
- 頂いた苗から育てたトマトを使用したパン教室(8月)



石巻から「防災」を届ける グッズ販売事業

いつもいっしょに無事かえるホイッスル

事業概要

無事かえるシリーズは、ナカジマコーポレーションの「かえるのピクルス」を防災商品化し、弊団体はその監修を務めています。弊団体では本商品を開発する段階で約100名の方々に被災時に何が必要だったかをヒアリングし、頂いた様々な意見(食料、ライフライン面、衛生面、精神面等)とともに私たちの経験も反映させております。

2021年度に発売したホイッスルは、普段から持ち歩けるようにピクルスのチャームつきです。ブルー、オレンジ、グリーン3色展開です。

現在販売しているロングラン商品の無事かえるフェイスバッグには、皆様ご自身で「災害が起きた時のために何を入れておこうか」を考えて頂くことで防災意識の向上へつなげます。また、ぎゅっと抱きしめると不安を少し和らげてくれます。

地域の防災訓練では、無事かえるピクルスのかわいらしさで、地域の方々とのコミュニケーションのきっかけにつなげることも期待しております。

今後、災害が起きても平時から育まれ『つながり』と『防災意識』が私たちのみならず、大切な隣人をも守り、無事にかえるこ



無事かえるホイッスルはグリーン、ブルー、オレンジの3カラー

今期の成果

■売上：¥115,250

今期の主要アウトカム

- ・前年度と同様に、石巻市内はもちろん、ECサイト販売にてご注文を頂いた。
- ・継続的に地域の防災意識の向上とつながりの育成の一助となることができました。



フェイスバッグやっぺすピンク



ご支援のお願い

賛助会員になりませんか

やっぺすを応援してくださっている皆様へ

日頃より、やっぺすの活動をご支援いただき誠にありがとうございます。
やっぺすでは年会費制の賛助会員制度を導入しております。

2011年の東日本大震災を機に「地域の復興をみんなでやっぺす！（やりましょう!）」という想いを込め活動を開始したやっぺすは、仮設住宅や公営住宅のコミュニティ支援や、仕事づくり、創業・起業支援、人材育成、女性のエンパワーメントなど、地域の課題解決に向け住民の皆様、応援くださる皆様と共に歩んでまいりました。

震災から10年以上が経過した現在、今後もやっぺすは「復興」からその先を見据え、「誰もが、私らしく生きるが叶えられるまち」の実現のため、地域に密着した活動する所存でございます。

そのため、やっぺすの活動にご賛同いただけましたら、ぜひ賛助会員へのご登録並びにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

みなさまからお預かりした会費は、活動資金としてたいせつに活用させていただきます。

賛助会員会費 : 3,000円/年(令和4年度分)
*やっぺす会員カードをお送りいたします。

<やっぺす会員お申込みフォーム>
お隣のQRコードよりお申し込み下さい。



活動資金を ご支援ください。

賛助会員制度以外でもご寄付を随時受け付けております。



団体寄付ページ



オンライン寄付サイト Give One

<他行からお振り込み>
金融機関：ゆうちょ銀行 八ー八支店
口座：普通口座 2420166
口座名称：特非)やっぺす
フリガナ：トクヒ)ヤッペス

<ゆうちょ銀行からお振り込み>
金融機関：ゆうちょ銀行 18140
口座：総合口座 24201661
口座名称：特非)やっぺす
フリガナ：トクヒ)ヤッペス



詳細について

詳細につきましては、お問い合わせください。資料をお送り致します。
当団体ではホームページ、SNS等で随時情報を発信しておりますので、是非ご覧下さい。
ホームページには隣のページのQRコード(ピンク)よりアクセスできます。



団体HP



買って石巻を 応援してください。

石巻のハンドメイドアクセサリや防災リュック、CDを購入して復興を応援してください。収益は、石巻の地域活性化の活動のために使用させていただきます。
詳細はページ左のQRコード「団体寄付ページ」より閲覧が可能です。
是非一度ご覧ください。



「ママ」と「社会」をつなぐ ハンドメイドアクセサリ Amanecer

ふんわり軽いコットンパールシリーズが大人気。石巻のママたちがひとつひとつ想いを込めて製作しています。



無事かえるシリーズ

震災の教訓から次の災害に備えるため誕生した親子向けの防災リュックとポシェットです。



その他販売

このほか、シンガーソングライター石田裕之さんとのコラボCD「やっぺす♡石巻」も販売しています。



知って広める。

メールマガジンやフェイスブック、ツイッター等で情報発信をしています。
ぜひ知って広めてください。講演も全国各地で行っていますので、ご依頼をお待ちしています。



Twitter : @yappesu



Facebook : <https://www.facebook.com/yappesu>



法人の方向けに。

当団体では、様々な企業様と協働事業を行っています。CSR活動、研修、視察、被災地における支援活動のコーディネート等を行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

tel: 0225-23-8588
e-Fax: 050-3155-4313
e-mail: info@yappesu.jp